

はな 花のメッセージ



午後6時ごろ



つぎの日の午前8時ごろ

この花の名前は「月見草」と言います。夜に咲く花なので、月を見る草という名前です。

この花は1晩だけ咲きます。夕方になると、咲き始めます。このとき、白色の花が咲きます。そして、次の日の朝、花が閉じます。このとき、花はピンク色にかわっています。色が変わる理由は、花が咲くとアントシアニンという物質が増えるからです。

ある女性^{じよせい}は3年間^{ねんかん}、ある男性^{だんせい}と付き合^{つきあ}っていました。二人^{ふたり}は、一緒^{いっしょ}に住^すんでいました。女性^{じよせい}は結婚^{けっこん}をかんがえていましたが、男性^{だんせい}は違^{ちが}いました。ある日^ひ、突然^{とつぜん}、男性^{だんせい}は「ほかに好き^すな人^{ひと}がいる。別^{わか}れてほしい。」と言^いいました。女性^{じよせい}は毎日^{まいにち}泣いて、別^{わか}れたくない^いと言^いいました。しかし、男性^{だんせい}の気持^{きもち}ちはかわりませんでした。そして、女性^{じよせい}は家^{いえ}を出^でていきました。その後^ご、男性^{だんせい}はほかの女性^{じよせい}と結婚^{けっこん}して、その家^{いえ}に一緒^{いっしょ}に住^すみました。

別^{わか}れた女性^{じよせい}は、男性^{だんせい}の家^{いえ}に月見草^{つきみそう}を送^{おく}りました。結婚^{けっこん}した女性^{じよせい}は月見草^{つきみそう}を見て、かわいい花^{はな}だなと思^{おも}い、育^{そだ}てました。



(Drawn by Akino SASAKI)

つきみそう はなことば には、「むごん あいじょう」 「うちあ 明けられない恋」 「こい うつぎ 移り気」 など、
いくつかあります。「むごん あいじょう」 は、なに い 何も言わない愛という意味です。「うち
あ 明けられない恋」 は、ひと い 人に言うことができない恋で、「こい うつぎ 移り気」 は、すぐにかわ
るきもち 気持ちです。

こうした はなことば 花言葉は、つきみそう 月見草のどのせいしつ 性質からきているのでしょうか。そして、つき
みそう はなことば 花言葉の い み かんが 意味を考えると、だんせい 男性、けっこん 結婚した女性、わか 別れた女性、どんな
きもち 気持ちでいるのでしょうか…。

(599字)

(2021.4 Written by Wakiko FUTAKUCHI)



この作品はクリエイティブ・コモンズ 表示 - 非営利 - 継承 4.0 国際 ライセンスの下に提供されています。この
作品を利用する場合は、「たどくのひろば」を出典として示してください。

例) 出典: 「たどくのひろば」 (<https://tadoku.info>)

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 4.0 International License. When you use
this work, please indicate the source as in the example above.